



12/6 美濃焼商品の開発目指し 土岐商業生がクラウドファンディングに挑戦

1月からクラウドファンディングに挑戦する土岐商業高校の生徒たちが市役所を訪れ、市長らにプレゼンテーションを披露しました。クラウドファンディングは、美濃焼をテーマに課題研究に取り組む生徒たちが、自ら企画する美濃焼商品の製品化を目指す活動資金として募るもので、傍聴者からは、「妥協せずに、『高校生』という強みを生かしてやってほしい」などのエールが送られました。



12/8 新任 ALT のチャンスさん 市長へ着任のあいさつ

市内の幼稚園、小・中学校で英語の指導を行うALTに加わったジョン チャンス アレンさんが、市長を訪問しました。チャンスさんは、米国ルイジアナ州の出身。学生時代に来日した経験があり、平安期の日本の歴史などに興味を持ったそうです。子どもたちには、ザリガニ料理など、出身地の習慣を伝えたいと抱負を語りました。



12/11 地球温暖化を防ぐためにできることは？ 楽しみながら学ぶワクワク環境デー

二酸化炭素やプラスチックごみの削減など、地球環境について学ぶイベントが市役所で開かれ、親子連れなど20人が参加しました。参加者は、身近な家電や自動車が出す二酸化炭素の排出量を学ぶと、地球温暖化や省エネに関するクイズに挑戦。繰り返し使用できる「美濃焼ストロー」など環境に配慮した陶磁器の展示を見学するなど、楽しみながら地球環境の事を学びました。



12/9・10・14 気持ちの良い新年を 土岐津公民館でしめ縄・門松づくり

土岐津公民館で、しめ縄・門松づくりが行われました。少しでも多くの人に見てもらおうと、同館のボランティアメンバーが例年よりも早めに制作を開始。3日間にわたり作業を行いました。ワイヤーにわらを巻き付けながら作ったしめ縄は長さが5mを超え、太さは過去最大級の仕上がりに。高さ約3mほどの門松も、ハボタンやナンテンを添えて華やかに飾り付けました。

11/29 身近に残る歴史を体験 濃南小学校 中馬街道史跡巡り

馬頭観音をはじめいくつもの石仏や道祖神が見守る古の街道「中馬街道」。濃南小学校の3年生11人が中馬街道の史跡巡りをしました。この日は約3キロメートルの行程を歩き、地元の講師から今も残る石造物の説明を受けました。濃南地区の子どもたちは、中学生になると中馬馬子唄の踊りや市の無形民俗文化財「打囃子」にも取り組み、地域の歴史とともに成長します。



12/2 土岐川流域グリーンベルト整備活動 生徒が土壌調査や玉切りを体験

土岐津中学校の1年生約90人が、学校に隣接する「土岐津の森」で樹林整備活動に取り組みました。この活動は、防災や自然環境保護の意識向上のために、多治見砂防国道事務所が毎年行っているもので、参加した生徒たちは、森に入り土壌や木々を観察したほか、剪定ばさみやのこぎりを使った伐採木の処理作業を体験し、安全な木の切り方を学習しました。



12/17 土岐紅陵生が火入れ式に参加 自然の薪窯ならではの焼成を学ぶ

薪窯による焼成が下石町の玄保庵で行われ、土岐紅陵高校の1年生19人が火入れ式に参加しました。焼き上げる作品は、同校の2、3年生が陶芸の授業で作成した茶わんやマグカップなど約50点を含む400点ほど。1250度の最高温度を目指しながら、6日間焼成が続けられました。玄保庵の加藤保幸さんは「生徒たちに少しでも陶芸に興味を持ってもらえたら」と話しました。

